

国に対しての要請をお願いしたい事項

令和7年2月5日(水)

苫小牧市法人保育園協議会

国に対しての要望の要請書のお願い

はじめに

ここ近年は、出生人口が激減していて、保育園の運営が大変厳しくなっているのは、全国的な問題となっています。

近年認定こども園の増加による待機児童問題の解決には大きな役割を果たしたのは確かな事実なのですが、認定こども園と認可保育園の公定価格には大きな人件費加算に格差が生じていて運営が困難になってきています。

また、保育利用時間の設定も標準時間(11時間利用)と短時間(8時間利用)による公定価格に差があり、年間の短時間利用者数の多い園では、年間の事業者負担は100万円程度の減収になってしまう現実があります。

また、保育園は開所時間も長く、幼稚園は春休み、夏休み、冬休みなどがありますが、保育園の保育士たちは、リフレッシュ休暇も長期間取ることが難しく、年間の祝祭日及び年末年始等の休みのみで、現場を支えています。

見守り家庭への対応や、発達支援児も多く個別記録物や面談など日々誠心誠意保護者並びに子どもたちに目を向けた丁寧で且つ安心できる保育の提供を心がけています。

園児数の激減により、運営難や慢性的な保育士不足の悩みを抱えながら、日本の乳幼児の大切な発達を支え、保育職員が安心して働ける保育園が、今後も健全に運営できるよう、苫小牧市から国に対して、下記の4項目の要望の要請をお願いしたいと思います。

【要請及び要望事項】

1. 保育園に対しても、認定こども園と同様の職員配置基準の加算をお願いいたします。
2. 標準時間と短時間の公定価格格差の是正をして下さい。特に施設側の格差を保護者と同様額程度にして下さい。
3. 土曜日保育の特別事業化
現在、週休3日制が世の中では実施されるという流れになってきていますが、土曜日は開所している保育所や認定こども園、小規模保育園については、保育士たちの週休確保の観点から、実績に応じて、特別事業としての特別予算化を実現して頂きたい。
4. 各園に栄養士(アレルギー食対応等)、看護師、事務職員のフルタイム専任化のための人的配置予算を付けて下さい。